第１２回 社員総会 議事録

１．総会の種類　定時社員総会（ＷＥＢ会議）

２．日　　時　令和３年６月１８日　午後２時～午後３時５７分

３．場　　所　琉球大学　大学本部棟　第二会議室

４．総社員数　１０名

５．出 席 者　琉球大学（代表理事：西田 睦）
沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学（理事：金 永秀）
沖縄大学（理事：盛口 満）　沖縄女子短期大学（理事：平田 美紀）
沖縄国際大学（理事：前津 榮健）　沖縄県立芸術大学（理事：波多野 泉）
名桜大学（理事：砂川 昌範）　沖縄県立看護大学（理事：神里 みどり）
沖縄工業高等専門学校（理事：伊原 博隆）
沖縄科学技術大学院大学（代理出席：小桐間 徳）

６．欠 席 者　理　　事：グルース・ハインリッヒ・ピーター・ホースト
顧　　問：瀬名波　榮喜
顧　　問：ロバート・バックマン

７．列 席 者　運営委員：満尾俊一、下地孝之、仲間末美、田代真紀、山城秀史、仲田哲二、新里雅恵、砂川一哉、喜舎場健太(代理)、金城邦光、東恩納こずえ
関係職員：牛窪潔、本村真、岡崎威生、山田恭子、羽賀史浩、稲福太一、金城まなみ、根間友紀乃、島袋健

８．議　　事

第１号議案　令和２年度　事業報告について
①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業（沖縄県委託事業）
②県民向け公開講座
③ＦＤ・ＳＤ事業
④県内大学入試説明会

第２号議案　令和２年度　決算について
①決算報告
②監査報告

第３号議案　令和３年度　事業計画（案）について

第４号議案　令和３年度　予算（案）について

第５号議案　その他
①大学コンソーシアム沖縄 代表理事が加入している団体
②地域連携プラットフォームについて
③情報交換（ＳＤＧｓの取り組みについて）

９．開会並びに定足数確認

議長である西田代表理事から、本社員総会は定足数を満たし有効に成立していること及び新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、ＷＥＢ会議により開催する旨報告があった後、開会宣言及び開会挨拶があり、議事審議に入った。

10．定款第１５条の規定による議長の氏名

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄代表理事　西田　睦

11．議事経過の要領及びその結果

○第１号議案　令和２年度　事業報告について

議長から議案の提案があり、議長の指名により以下の者から資料に基づき、令和２年度における各事業について報告があった。

①子どもの居場所学生ボランティアコーディネート事業

報告者：本村真（子どもの居場所学生ボランティアセンター長）

②県民向け公開講座

報告者：島袋健（事務局）

③ＦＤ・ＳＤ事業

報告者：ＦＤ事業については、岡崎威生（琉球大学工学部教授）

報告者：ＳＤ事業については、島袋健（事務局）

④県内大学入試説明会

報告者：山田恭子（琉球大学グローバル教育支援機構アドミッションセンター准教授）

なお、④について、議長から、高等学校ＰＴＡ連合会、高等学校校長協会及び教育委員会と連携した取り組みについて、全国、他地域での状況についての質問に対し、教育委員会と大学が連携した取り組みは聞いている。受験にあたり、一番の相談相手である保護者へ入試のことを知ってもらうことは重要で、高等学校ＰＴＡ連合会などとの連携は意義があるとの発言があった。

審議の結果、令和２年度事業報告について、全員異議なく承認された。

○第２号議案　令和２年度　決算について

①決算報告

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（島袋）から決算報告書の資料に基づき、令和２年度決算に関する説明があった。

審議の結果、令和２年度決算について、全員異議なく承認された。

②監査報告

議長から議案の提案があり、議長の指名により監査人を代表して金監査人から監査報告書に基づき、報告があった。

また、議長から監査人については、「監査の申合せ」で、任期は２年、持ち回りで金理事、盛口理事に２年間ご協力いただいた。次期の監査人については、組織規則第３条で定める業務執行機関の代表理事、副代表理事を除く、持ち回り順の２名の理事として沖縄女子短期大学、沖縄県立芸術大学にお願いしたいとの発言があり、承認された。

○第３号議案　令和３年度　事業計画（案）について

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（稲福）から資料に基づき、令和３年度における各事業計画（案）について説明があった。

審議の結果、令和３年度 事業計画(案）について、全員異議なく承認された。

○第４号議案　令和３年度　予算（案）について

議長から議案の提案があり、議長の指名により事務局（島袋）から資料に基づき、令和３年度予算に関する説明があった。

審議の結果、令和３年度予算（案）について、全員異議なく承認された。

○第５号議案　その他

①大学コンソーシアム沖縄 代表理事が加入している団体

議長から議案の提案があり、議長の指名により満尾事務局長から資料に基づき、大学コンソーシアム沖縄 代表理事が加入している団体に関する説明があった。

②地域連携プラットフォームについて

議長から議案の提案があり、議長の指名により牛窪潔琉球大学地域連携担当副学長から資料に基づき、地域連携プラットフォームに関する説明があった。

○令和３年５月に沖縄県の新たな振興計画の素案が策定され、沖縄県のホームページ上で公開されている。７月に沖縄県へ地域連携プラットフォームに関する報告と県の意向を確認するための意見交換会を計画している。
素案の中の「地域連携プラットフォーム」に該当するのが、基本施策５－（３）－ウでそのメインテーマは「地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実」で、まさに我々、高等教育機関の重要な課題となっている。このテーマは三つの柱で構成され、
一つ目が、高等教育の魅力向上と地域貢献機能の充実
（成果指標：県内大学の志願倍率）
二つ目が官民連携による「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築と展開
（成果指標：大学等と連携して実施する取組の志願倍数）
三つ目が産業と高等教育機関の連携による実践的なキャリア教育の推進
（成果指標：大卒者進路未定者率）

今後、三項目の課題に対して、実施可能な取組内容を考案、整理する。
特に一つ目の成果指標と三つ目の成果指標については、過去５年間ぐらいのデータが必要になるので、そのデータ収集を改めてお願いすることになると思う。
今後のモットーとしては、県内大学がお互い協力しあって基本施策５－（３）－ウに取り組む姿勢を沖縄県に報告し、その上で県側の意見を聞く会合を持ちたいと考えている。データもそうだが、事前に話し合う内容も相談させていただく予定。その際は、協力を要請する。

議長から沖縄県振興審議会の学術・人づくり部会長を務めている前津理事へコメントが求められ、前津理事から次のような発言があった。

○沖縄県の新たな振興計画の素案の中に「地域連携プラットフォーム（仮称）」など三項目が盛り込まれたことは歓迎できる。
長年、大学から県へ要請していたことが動き出した。今後、県が本気になって取り組んでくれることを期待したい。また、「学術・人づくり部会」で強く発言したいと思う。
大学の方からは、県内の大学が人材を如何に産業界に送り出しているかを発信しなければいけないと思う。

③情報交換（ＳＤＧｓの取り組みについて）
議長から議案の提案があり、議長の指名により琉球大学研究推進機構の羽賀史浩上席ＵＲＡから資料に基づき、大学コンソーシアム沖縄でのＳＤＧｓの取り組みとして、検討組織である「大学コンソーシアム沖縄ＳＤＧｓプロジェクト」の会議の状況報告とＳＤＧｓに関する説明があった。また、「大学コンソーシアム沖縄ＳＤＧｓプロジェクト」へ参加されていない加盟校について、参加の呼びかけがあった。

沖縄県のおきなわＳＤＧｓパートナーに登録されているキリスト教学院大学の金学長からの報告。
「キリ学」でＳＤＧｓの取り組みをけん引している教員と、国連で働いている卒業生を中心に国際的なミーティングをおこなった。ＳＤＧｓをグローバルに考える内容でＺＯＯＭの授業の中で展開した。

以上をもって、定時社員総会の全議案の審議を終了し、前津榮健副代表理事から閉会の挨拶を行った後、議長は閉会を宣し散会した。

上記議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事が記名押印する。

令和３年８月４日

一般社団法人大学コンソーシアム沖縄　第１２回社員総会

議　長　　西　田　　睦　　印

理　事　　金　永　秀　　印

理　事　　盛　口　満　　印

理　事　　平　田　美　紀　　印

理　事　　前　津　榮　健　　印

理　事　　波多野　泉　　印

理　事　　砂　川　昌　範　　印

理　事　　神　里　みどり　　印

理　事　　伊　原　博　隆　　印

（議事録作成者）
運営委員（琉球大学地域連携推進課長）　下　地　孝　之